

研究会のご案内

日時：6月29日（土）14：00～16：30

場所：島根大学法文学部 433 室（法経学科多目的室）

報告：奈須 祐治 先生（西南学院大学法学部教授）

「日本における差別対策法の現状と課題」

要約：日本においては、他国と同様に人種、民族、性別、性的指向、性自認等の様々な属性に基づく差別が問題となってきた。しかもその一部は、特定のマイノリティを周縁化し、二級市民に貶めるものであった。これに対し、国・自治体はこれまで多様な法令を制定し、対策を行ってきたが、依然として①包括的な差別禁止法が無い、②本格的な国内人権機関が創設されていない、③ヘイトスピーチ／クライム対策法が極めて断片的であるといった、重大な欠陥を孕んでいる。本報告では日本（特に自治体）における最近の動向を確認したうえで、欧米諸国の法制度を参照し、上記の欠陥の本質的な問題を指摘する。

どなたでもご参加いただけます。島根大の教職員・学生

のみならず、一般の方々のご参加も歓迎します。

URL または QR コードより事前にお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/dXXRjYx93N>



お問い合わせ：黒澤 修一郎（島根大学法文学部准教授）

skurosawa@soc.shimane-u.ac.jp